

第12回全日本テコンドー選手権大会

開催要項

1. 名称 第12回全日本テコンドー選手権大会
2. 主催 一般社団法人 全日本テコンドー協会
3. 主管 千葉県テコンドー協会
4. 後援 千葉県 千葉県教育委員会
千葉市 千葉市教育委員会
5. 協賛 一般財団法人 国際クラブ
株式会社 NRE
株式会社 ダイテックス
株式会社 ソケッツ
アディダスジャパン株式会社
株式会社 SYNERGY JAPAN
6. 開催日時 平成31年2月16日(土)・17日(日)
<16日>パラ・キョルギ<17日>キョルギ
9:00 開場 10:00 試合開始予定
7. 開催場所 千葉ポートアリーナ
〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-2
TEL 043-241-0006
<交通>千葉都市モノレール「市役所前駅」下車 徒歩約8分
8. 開催種目 キョルギ/パラ・キョルギ/2部門とする
9. 計量・場所 平成31年2月15日(金) 18:00~20:00 (*パラ・キョルギ前日計量)
平成31年2月16日(土) 17:00~19:00 (*キョルギ前日計量)
平成31年2月17日(日) 8:30~ (*キョルギ当日計量)
場所: 千葉ポートアリーナ
上記時間までに集合。止むを得ない理由によって時間に集合ができない場合、
【前日まで】(一社)全日本テコンドー協会事務局 (03-3481-2732)
【計量当日】審判委員長 長野修士 (090-2711-0003)
競技委員長 舘 和男 (090-6067-4370)
いずれかの大会役員まで必ず連絡を入れ、理由と予定時間を伝える事。

連絡が無い場合については、不参加とみなしますのでご注意ください。

※前日計量後、会場にてトーナメント作成の抽選を行う。

※当日日ランダム計量について（前日計量をクリアした競技者のみ）

※パラの部は行わない

競技開始 2 時間前から開始し 30 分前に完了する。

抽選で競技者の何人かを決定する場合がある。

ランダム計量については、競技者の出場階級に対しての 5%まで認める。

10. 出場資格

【キョルギの部】

都道府県協会代表者の承認を得た、心身ともに健康な高校生以上の全日本協会個人登録を済ませた選手のうち、下記①～④の各大会における各階級 3 位以内入賞者、または下記⑤～⑨に該当する者

①第 10 回全日本選手権大会（愛知県体育館）

②第 11 回全日本選手権大会（千葉県総合体育館）

③第 12 回全日本選手権大会東日本地区大会（山梨市総合体育館）

④第 12 回全日本選手権大会西日本地区大会（兵庫県立武道館）

⑤第 1 回全日本社会人選手権大会（兵庫県立武道館）社会人の部 1 位・2 位入賞者

⑥第 12 回全日本学生選手権大会（岐阜・かんぼの宿体育館）1 位・2 位入賞者

⑦第 11 回全日本ジュニア選手権大会（長野県松本市総合体育館）高校生クラスの 1 位・2 位入賞者

⑧平成 30 年度強化指定選手

⑨「開催地枠」予選地区大会・本戦大会の主管県協会の推薦選手（男女各 1 名）

※外国国籍の場合、日本在住であること（住民票又は外国人登録証明書等のコピーを添付）

※上記①から⑥の大会入賞者については、同大会のエントリー階級と同階級にのみ参加可

※上記③④の大会入賞者で参加が出来ない選手は理由を必ず提出の事（大会要項に記載）

【パラ・キョルギの部】

本来、WT 規定に準拠したパラテコンドーでは障がいの種類や程度でクラス分けがなされ、スポーツクラスごとに体重別で試合を行います。但し、今大会では国内ルールとして、

①都道府県協会の承認を得た、全日本テコンドー協会の会員登録済の選手

②障がい者手帳を取得した身体障がい者を有する選手

③歩行補助具、硬性装具なしで歩行可能な選手

以上の項目をすべて満たしている選手のみ出場可能とします。

*選考に関して

【キョルギの部】

今大会を 31 年度強化指定選手選考大会、2019 世界テコンドー選手権大会選考会とします。

【パラ・キョルギの部】

今大会を 31 年度強化指定、育成指定選手の選考大会とします。

国際クラス取得者と取得の可能性のある選手を対象とします。

現強化指定育成指定選手は、国際大会の実績を考慮し、来年度強化指定育成指定選手の選考をする。

11. 出場階級 **【キョルギの部】**

(男女別)

男子（8階級）		女子（8階級）	
-54kg 級	~54.00kg	-46kg 級	~46.00kg
-58kg 級	54.01~58.00kg	-49kg 級	46.01~49.00kg
-63kg 級	58.01~63.00kg	-53kg 級	49.01~53.00kg
-68kg 級	63.01~68.00kg	-57kg 級	53.01~57.00kg
-74kg 級	68.01~74.00kg	-62kg 級	57.01~62.00kg
-80kg 級	74.01~80.00kg	-67kg 級	62.01~67.00kg
-87kg 級	80.01~87.00kg	-73kg 級	67.01~73.00kg
+87kg 級	87.01kg~	+73kg 級	73.01kg~

【パラ・キョルギの部】

- ・障がいの程度によるスポーツクラス4つ（K41、K42、K43、K44）
※国際大会に出場するためには、必要最小障がい基準（MDC※別紙⑤参照）を満たさなければならない。クラス分けを受診したことない選手は試合後にクラス分けを行います。
- ・体重別階級（男子-61kg、-75kg、+75kg、女子-49kg、-58kg、+58kg）
- ・参加状況により階級を確定し、後日参加選手に通知します。

12. 試合形式及び時間

【キョルギの部】

- ①WT ルールに基づくトーナメント方式
- ②試合時間
 - ・2分×3R インターバル1分
- ③競技コート 10m×10m・競技エリア 8m×8m
- ④有効ポイント
 - ・5点：オルグル(180度回転蹴りー後回し蹴り、後ろ蹴り、ターン飛び蹴り)攻撃
 - ・4点：モントン（ターンとび蹴り、後ろ蹴りなど）攻撃
 - ・3点：オルグル攻撃
 - ・2点：モントン攻撃
 - ・1点：ジユモク（拳技）攻撃
- ⑤3R 終了時点で同点の場合は1分間休憩の後に第4Rとして1分1Rのゴールデンポイントラウンドを行い2点先取したものが勝者となる。
- ⑥2R 終了時もしくは3R 中に得点差が20点差の場合、勝者が宣告される。(PTG)
ただし、準決勝および決勝戦においては、ポイント差による勝利宣告は行わない。
- ⑦選手間の力量差が明確で、安全上試合続行困難と判断された場合、審判の裁量により速やかに試合を中止し、勝敗を判断する。(RSC)
- ⑧競技者が、3R を通して10回の「カムチョン(減点)」を与えられた場合は、反則行為にて勝利を宣告する。(SUP)
- ⑨試合進行を妨げる行為は失格とする。(3度の選手呼び出しにも関わらずコートに現れない場合およびコーチの暴言等での競技の妨害等)

【パラ・キョルギの部】 *上記と違う部分のみ記載

- ①有効ポイント（中段蹴りのみ、パンチは行ってもいいがポイントにならない）
 - ・通常の蹴り 2 点
 - ・180 度回転蹴り（ティッチャギ） 3 点
 - ・360 回転蹴り（ターン） 4 点
- ②ポイントギャップは準決勝、決勝でも適用する
- ③上段蹴り反則（但し低い姿勢を取って顔に蹴りがあたった場合には、低く構えた選手が安全ではない行為を犯したとして反則となる）

13. 試合装備

- ①WT (<http://www.worldtaekwondofederation.net/about-wtf/recognized/>)
公認テコンドー道衣着用（全日本テコンドー協会道着規定に準じ、承認を受けた団体表記・ロゴをプリントの事）。
 - ②Daedo 製電子防具・電子ヘッドギアを使用する。
 - ③電子ボディープロテクター、電子ヘッドギアは主催者で用意する。
 - ④WT 公認の腕、脛プロテクター及びファールカップ（男・女）、ハンドグローブ、マウスピースを各自準備（マウスピースは、白または透明の物）する事。
 - *男子の道着(上)の下はTシャツ等の着用は禁止、女子は白色のみ着用可
 - *試合装備・道着の不備などあった場合、出場不可となります。
 - *プロスペクス社製のテコンドー道着、試合装備用具の使用を許可いたします。
 - ⑤電子防具装着は会場内の所定の場所にて速やかに装着し、試合終了後、速やかに返却すること。
- 電子ソックスは個人で準備して下さい。お問い合わせ先は輝蹴スポーツ
(<http://www.kishusports.com/shop/products/list.php>) までご確認ください。
- ※今大会は、Daedo 電子防具システム Generation2 を使用しての競技実施となります。**
- ※電子防具システムに不具合が発生した場合、審判判定システムで試合を実施する措置を取る事があります。

14. ドーピング・コントロール

- ①本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ②本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ③20 歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- ④本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ⑤競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。

⑥日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

15. 申込方法
- ①添付の申込用紙①（別紙 1）に必要事項を記入し、下記申込期日までに都道府県協会ごと一括して e-mail 送信する。
- ※外国国籍の場合、日本在住であること（住民票又は外国人登録証明書等のコピーを添付）
- ※所属名の表記 ①所属道場・クラブ名 ②在籍学校名 ③所属企業名 いずれか1つを記載。トーナメント表や結果公表時の際、氏名と併記する所属名を①～③で選択できます。選手は指導者と相談の上、申込時に記載してください。
- ② 会員データサービス（ <https://m5.members-support.jp/ajita/> ）
- 「イベント情報」⇒「イベント申込」より、出場階級にエントリーしてください。
エントリー費納入をもってエントリー完了となることをご注意ください。
（締切日≠エントリー入力日）（締切日=エントリー費納入日）
- ※コーチ（セコンド）もデータサービスよりエントリーしてください（必須）
- ③パラ・キョルギに関して、クラス分けを行ったことのない選手は、添付④（医療診断フォームを上記申込用紙①（別紙 1））ともに都道府県協会ごと一括して e-mail 送信する。
16. 参加費
- | | | | |
|-------|------|----------|-----------|
| 正加盟団体 | 選手一人 | 15,000 円 | （傷害保険料含む） |
| 準加盟団体 | 選手一人 | 17,000 円 | （傷害保険料含む） |
| 直轄会員 | 選手一人 | 20,000 円 | （傷害保険料含む） |
- ※データサービスでエントリーと同時に納入してください。
※選手側の理由で出場不可能となっても参加費は返却いたしません。
17. 申込期日 2019年1月16日（水）必着厳守
- ※期日に間に合わない場合受け付けいたしません。
※コーチも同様ですので、お気を付けてください。
18. 申込書送信先 一般社団法人全日本テコンドー協会 事務局
- Email japan2005tkd@ajta.or.jp
19. 本要項に関する問い合わせ先
- 競技委員長 舘 和男（携帯 090-6067-4370）
パラ委員会 高木伸幸（携帯 090-2755-9424）*パラ種目担当